

春日市指定管理者導入施設の業務実績評価【対象年度:令和3年度】

1 基本情報		2 施設情報(休館など)	
施設名	岡本保育所	公私連携型保育所へ移行決定し、現在法人公募中(10月末に決定) 新園舎を建築予定	
指定管理者	社会福祉法人 共栄福祉会		
指定期間	元年4月1日から6年3月31日まで(5年間)		
担当所管	こども未来課 保育担当		

3 利用者数							
指定期間	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
年度	元年度	2年度	3年度	年度	年度		
			前年度比		前年度比		
利用者数	合計	93人	93人	100%	99人	106%	
施設内訳							

4 履行確認項目への評価					
分類	履行確認項目	評価の視点	確認内容	評価	特記事項
施設維持管理	清掃	・適正に実施されているか ・衛生管理は適切か	・保育所日誌作成・報告、現地確認 ・給食室や保育室等の消毒・害虫駆除等の記録 ・午睡用寝具類等の洗浄・殺菌等の記録	○	・園舎内の掃除だけでなく、園庭の砂場は週1回掘り返して消毒を行うなど、衛生管理に努めている。
	設備保守点検	・適正に実施されているか ・事故等が発生していないか ・不具合の対応は適切か	・遊具・厨房・保育室等の安全点検表、現地確認 ・事故等の記録・報告 ・設備状況の把握	◎	・県の給食監査において、建物の老朽化、動線の悪さを職員の工夫でカバーしていると評価を受けている
	警備	・適正に実施されているか ・事故等が発生していないか ・不審者対策は適切か	・入所のしおり及び現地確認 ・園児の安全管理や被害状況の記録・報告 ・フェンス、門扉及び送迎時等のセキュリティ状況確認	○	
	小規模修繕	・適正に実施されているか ・不具合の対応は適切か	・資金収支決算内訳表及び現地確認 ・施設状況の把握 ・改修計画・要望(市と協議)及び実績報告	○	
運営業務	運営状況	・公共性・公平性を確保しているか ・協定書・事業計画等どおり実施しているか ・ホームページや園だより等に掲載しているか	・行事計画、事業計画・実績報告及び現地確認 ・延長保育、障害児保育等の実施記録 ・市と連携した適正な入所手続き状況の把握 ・広報活動や情報提供等の実施状況の把握	◎	・新型コロナウイルス感染症拡大により、さまざまな園行事の実施が困難となっていたなかで、感染症拡大防止に努めつつ、行事などの規模を縮小したり、回数を増やしたりなどの工夫を凝らして可能な限り実施している。 ・ホームページやSNS(インスタグラム)で保護者へ情報提供を行っている。
	サービス水準の維持	・サービスの水準を維持する努力はなされているか ・課題解決の努力をしているか	・事業報告書及び現地確認 ・保育や給食研修等への参加状況 ・課題解決の取組みや保育方針の報告	◎	・保護者の評価は高く入所希望が多く、年間を通じて高い入所率を維持している。
	利用状況の把握	・事業報告書及び現地確認 ・保育や給食研修等への参加状況 ・課題解決の取組みや保育方針の報告	・保育所運営費請求書、延長保育利用状況報告書及び現地確認 ・通常保育や延長・障害児保育等利用者の把握、児童欠席簿の確認	○	・比較的小さな定員規模に応じた穏やかで温かみのある保育を実践している。
状況	収支決算状況	・適正に執行されているか ・管理コストが上昇していないか	・資金収支予算書・決算書及び現地確認 ・帳票の管理、収支状況報告 ・予算と決算の比較 ・利用者当たりの管理コスト(支出/利用者数) ・保育料等の比率(利用料金/収入)	○	・市が定期指導監査を実施し、概ね良好であった。
運営体制	人員の適正な管理	・人員の適正な配置(保育所最低基準)か ・継続的なレベルの維持に努めているか	・運営費請求書・実績報告書(職員名簿)及び現地確認 ・人員の配置状況・勤務体系 ・指導・研修体制 ・知識・経験を有する人の配備	○	
	利用者の苦情・要望等の対応体制	・苦情等への対応は適切か	・報告書提示及び現地確認 ・苦情・要望への対応体制(第三者委員会)の有無	○	・苦情解決のための体制は整備されている。
	危機管理体制の確保	・事故・災害発生時の対応はできているか	・防災(消防)計画、避難訓練記録及び現地確認 ・緊急連絡やマニュアル等の作成	○	・事故・災害発生時の対応マニュアルを整備し、毎月避難訓練を実施している。
	関係機関・地域との連携体制	・連携を図るための組織・体制を整えているか ・保護者や地域と一体となった利用状況か	・事業報告書及び現地確認 ・定期的な情報交換等の開催実績 ・保護者や地域の子育て支援状況や行事の把握	○	・新型コロナウイルス感染症拡大により、例年行っている地域交流行事の中止を余儀なくされているが、関係機関とは、コロナ禍においても感染対策を取りながら連携を図っている。
その他	福岡県指導監査状況	・指導監査指摘事項の改善状況等は適切か	・監査資料に基づく各項目の状況及び現地確認	○	・県の定期指導監査においても概ね良好であるとの評価である。
	保健衛生管理体制	・保健衛生管理体制は適切か	・事業計画・保健だより及び現地確認 ・乳幼児や保育所職員の健康診断の実施状況 ・感染症や食中毒予防等の助言・指導状況	○	

5 加点項目への評価	
評価内容	特記事項
協定書等での規定はないが、自主的に取り組まれているもの	・安田式運動あそび(訓練的な指導ではなく、子どもたちの考える力や意欲を自然に引出し、自発的な行動ややる気、興味、体の使い方、危険を回避する安全能力を身に付けることを目的としている)の指導法を導入し、低年齢の子どもから発達に必要な運動あそびを取り入れ、楽しみながらの発達の積み上げを行っている。 ・4歳児、5歳児を対象にしたサッカー教室、発達状況に応じたカリキュラムで指導しており、子どもたちに積極性、自信を獲得させ、運動能力を向上させるなど児童の健全な発達に大きな効果を上げており、保護者から高く評価されている。 ・その他の課内教室として(書き方教室、あそびの輪、音楽教室、エイサー教室)多数実施しており、保護者から高く評価されている。 ・園には絵本や図鑑が800冊あり週1回子どもたちが1冊家に持ち帰り、保護者と一緒に読む時間を作るなど家庭の育児支援を行っている。

6 総合評価	
評価	コメント
A 優れている。	・定員の弾力化(部屋の大きさや保育士配置が基準に達していれば、待機児童解消等のため定員以上の児童を受け入れることができる国の取扱い)により、定員を超える入所児童の受け入れを行い、待機児童解消に寄与している。 ・県と定期合同指導監査を実施し、概ね良好であった。 ・運動あそびやサッカーなどを通して、発達の積み上げや、運動能力の向上など、児童の健全な発達に尽力していることは高く評価できる。